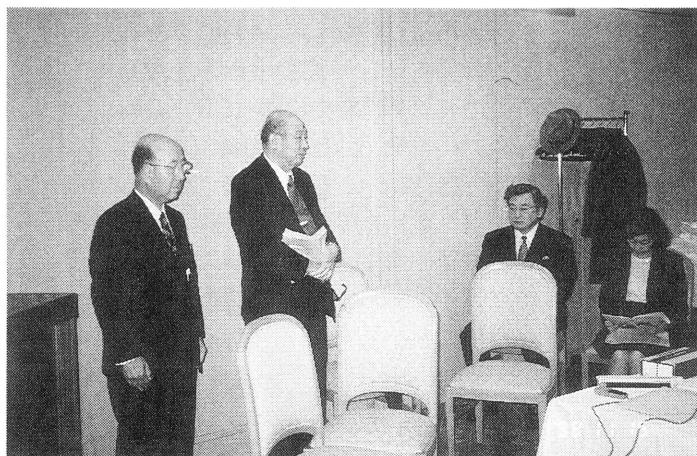


# Die Eiche ディ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274 船橋市飯山満町2-518-1 第2ワールドナーシングホーム内 / TEL 0474-61-9111

## 文化講演会「丸山ワクチンの現況と展望」

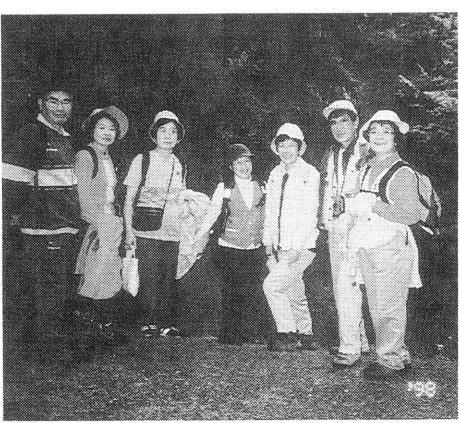


(日本医科大学講師・藤田敬四郎医博)

今回は、丸山千里博士亡き後、博士の後継者として、日本医大ワクチン療法研究施設の責任者を務めておられる藤田医博に、「丸山ワクチンの現況と展望」と題して、去る11月15日、千葉そごう10階レストラン、「サファイア」で講演して頂いた。先生は先ず丸山ワクチンの特長として、

①副作用がない。  
②身体の免疫力を高めて身体の環境を良好にして、ガン細胞を封じ込めたり、共存を可能にする。

点を強調。あとスライドで各種ガン毎に丸山ワクチン投与後5年以上の生存率を示された。1979年4月から1998年3月迄に他の病院から紹介されてきた末期がん患者228,301例の5年以上の平均生存率は9.71%との事で、10%を超えたのは、乳がん(23.58%) 前立腺がん(16.56%) 子宮がん(18.82%) 甲状腺がん(28.53%) 卵巣がん(12.25%) 舌がん(17.21%) 膀胱がん(18.10%) 腎臓がん(11.99%)等であるという。中には、12年前末期卵巣がんで死が迫っていた患者で、丸山ワクチンの投与により今でも存命している例もあるとの事。最近ではフランスやアメリカでも丸山ワクチンの効果が評判となっており、アジアの国々からも講演を依頼される事が増えているという。尚、講演後は、食事を共にしながら参加者からの質問にも応じて頂いた。



でき協ル なた。ラ屋展様かどにををたと。 る大!のつ末フ!間。『財  
の会、又り。シで望にらも、返か。森豊街改テ列とのルテ沢九  
旅ドのワ、ま次でワの足小行絵しけ森整の日で装祭車収為トゆ山月  
行イ皆イもしののイ良が人け本なてを備旅よし中のめか空かの二  
ツ様マうた。機昌シレ進がどそが来乗さりた。で來旅、大港り目十  
心語と一、会食や処み出ものらましましは3  
掛ののルつ、にをビで、て続ま歩すむた。日  
千け勉交、のほききまきのド道リ間は  
ようの会貝的の、は味!、ほききまきのド道リ間は  
必要も、シイ、別わルパンそ、のつをンのう色。し  
反省性体のル、は、のつをンのう色。し  
省しと反、挑森敵り思歩き園な会会ま様的  
英子、石川いさせ市ウ、挑森敵り思歩き園な会会ま様的  
まなての、石川いさせ市ウ、挑森敵り思歩き園な会会ま様的  
英子、石川いさせ市ウ、挑森敵り思歩き園な会会ま様的  
ます荷頂日ズ、挑森敵り思歩き園な会会ま様的  
物独、挑森敵り思歩き園な会会ま様的

# 催 物 案 内

## ■ 早春の「御宿歴史資料館」見学と懇親会

(千葉県日独協会主催 (財) 日独協会協賛)

日・独をはじめ世界各国の昔からの教科書を展示する千葉県御宿町歴史資料館を見学、その後同町関係者と懇親会を行います。尚、同館は「五倫文庫」とも呼ばれ、1991年にラックル a.M の「シュトルウヴェルペーター博物館」と姉妹提携され、江戸・明治時代及びウイマール、第三帝国時代の教科書や“ぼうぼうあたま”(Der Struwwelpeter) の日本語版も見られる珍しい文庫です。

日時：2月6日(土) 12:30pm 御宿駅集合

JR 京葉線・特急わかしお9号 11:32 東京発 12:19 御宿着

参加費：4,000円 交通費自弁 (東京御宿特急券込み3,770円)

申込締切：1月29日(金)

参加申込者には、旅程等をお送り致します。

<申込方法：事務局平田常任理事宛 Tel:0474-61-9111

Fax: 0474-61-7010>

## ■ ドイツ・ワイン試飲会

日程：3月中の予定 希望者は追って日時を連絡します。

申込方法：事務局まで。

<千葉県日独協会事務局 Tel:0474-61-9111 Fax: 0474-61-7010>

## ドイツ軍人病没者 追悼慰靈祭

恒例の、第一次大戦時のドイツ軍人病没者慰靈祭が、秋晴れの11月8日午前11時より船橋市習志野霊園内のドイツ軍人墓地にて行われた。当日は在日ドイツ連邦共和国大使館の国防武官ペーター・トロップ・シェグ 空軍大佐、又長年墓を守って頂いた石崎先生、習志野市教育委員会の米沢弘実文化係長参加の下、当協会平田常任理事司会でドイツ国歌の吹奏(CD)、トロップ・シェグ 空軍大佐の追悼の辞(下左)、加藤当協会会长の挨拶と続き30柱の御靈(下記)が紹介された後、参加者が献花、墓前及び二年前に植樹されたドイツ柏の前で記念撮影をして散会した。

## 病没者名

ハインリヒ・アグーテン兵長	/	フーゴー・レマノ船副哨戒兵
ヨハンネス・バオフ義勇兵	/	レオ・リネル機関兵
ヘルマン・ベッカー機関兵	/	ペーター・メリス水兵
アルフォンス・ベルント砲手水兵	/	カール・ノヴァーク水兵
カール・ベッカー兵長	/	フィリップ・ノッペニー 砲手水兵
ヴィルヘルム・ベーマー水兵	/	ハイツ・コゼンバント 予備役兵長
クリスティアン・デル水兵	/	ゲスト・シュルツエ砲手兵曹
チャーリー・フォッケン 水兵	/	ユリウス・ショツエ義勇兵
ハンス・グラスマッハー 砲手水兵	/	カール・ゼング砲手水兵
ハルト・ハーゲマン 義勇兵	/	ハベルト・シバーネ砲手水兵
フーゴ・ヨハンネス上級砲手水兵	/	カール・シュタウフ水兵
ペット・ケルナー 上級機関兵	/	ハベルト・シテベ 上級砲手水兵
ヘルマン・クラマー 砲手水兵	/	フリードリッヒ・シテル 水兵
ジモン・クラウス 国民兵	/	フランツ・ズーラン船副兵曹
フリッツ・トーネス予備役兵長	/	ハベルト・テル 上級砲手水兵

## 在日ドイツ連邦共和国大使館 国防武官ペーター・トロップ・シェグ 空軍大佐 挨拶

「毎年11月に私たちドイツ人は、戦没者並びに戦争とナチの犠牲者を追悼することにしています。ここ習志野では80年前に捕虜として連れてこられ、やむなく人生を終えたドイツ兵士30人の追悼を行っています。祖国のために命を捧げ、故郷を遠く離れた異国の地に眠る我が同胞の榮誉を讃えて、日本の方々が長年に渡ってドイツ兵士の墓所のためにご尽力され、そして今なおご尽力されていることに、常々感激しております。皆様のご尽力がなければこの墓所も忘れられてしまい、このように追悼を行う事もかないませんでした。この場を借りまして、加藤先生並びに千葉県日独協会の皆様、そしてご尽力された方々には、変わらぬご支援を頂き、慰靈祭を毎年開いて頂いています。この慰靈祭には二つの目的があると思います。第一に、ここに眠る兵士の榮誉を讃えることです。第二に戦争や争いそして多くの人々の苦しみを今後繰り返さないために、できるだけの事をしなければならないという思いを新たにすることです。この思いにより、我が同胞の死は現在の私たちにもそして後の世代にとってもなお大きな意味を持っているのです。最後に、亡くなつた我が同胞のために本日お集まりいただきましたことを、心より御礼を申し上げたいと思います。」

